

< 物流の効率化に向けた取組紹介 >

石炭の共同輸送について

やまぐち港湾運営株式会社は、経営方針に「**連携の促進**」を掲げ、企業間連携や港間連携など様々な連携を促す取組を通じて、物流の効率化を促進することとしています。

このたび、この連携による取組の一環として、当社と共に「国際バルク戦略港湾[※]」の実現に向けた取組を進めている**宇部興産株式会社**と**中国電力株式会社**の両社が、**石炭の共同輸送**を実施することとなりましたので、その概要をご紹介します。

一般的に石炭は、オーストラリアやインドネシア等から各会社が個別に配船した船舶で輸入されますが、「共同輸送」では複数の会社が共同で配船した大型船舶に石炭を合積みして輸入します。これにより、石炭の一括大量輸送が可能となり、スケールメリットによる輸送コストの縮減が見込まれます。

現在、国等の事業により、大型船舶の入港を可能とする港湾施設の整備が進められていることから、当社としても国際バルク戦略港湾の関係者と協働で、施設の整備効果を最大化し、物流の効率化を促進するための取組を今後も進めてまいります。

※国際バルク戦略港湾：当社ホームページ「徳山下松港の取組」参照

■ 今回の共同輸送の概要

| | |
|------|----------------------------------|
| 積出港 | ニューキャッスル港（オーストラリア） |
| 出発時期 | 平成30年8月下旬 |
| 荷揚港 | 宇部港 |
| 到着時期 | 平成30年9月上旬 |
| 輸送量 | 約6.5万トン（宇部興産：約4.5万トン、中国電力：約2万トン） |
| 輸送船 | 8万トン級パナマックス船 |



国際バルク戦略港湾の関係企業による石炭共同輸送の実績（参考資料）

■ 中国電力・宇部興産（平成26年12月～平成27年1月）

| | 1隻目（共同輸送） | 2隻目（共同輸送+二港揚げ） |
|------|------------------------|--------------------------|
| 積地 | インドネシア・サマリンダ沖積み | 豪州ニューキャッスル港積み |
| 出発時期 | 平成26年12月4日 | 平成26年12月23日 |
| 揚地 | 宇部港 | 徳山下松港（下松地区）及び宇部港 |
| 到着時期 | 平成26年12月13日 | 平成27年1月8日 |
| 輸送量 | 約7万トン | 約10万トン |
| 輸送船 | パナマックス船 （7万トン積級外航船） | スモールケープ船 （10万トン積級外航船） |

■ 中国電力・四国電力（平成27年4月）

| | |
|------|-------------------------------|
| 積出港 | ニューキャッスル港（豪州） |
| 出発時期 | 平成27年4月5日 |
| 荷揚港 | 福山港 |
| 到着時期 | 平成27年4月20日 |
| 輸送量 | 約14万トン（四国電力：約8万トン、中国電力：約6万トン） |
| 輸送船 | 18万トン級ケープ船 |

■ トクヤマ・出光興産（平成27年6月）

| | |
|------|------------------------------|
| 積出港 | ニューキャッスル港（豪州） |
| 出発時期 | 平成27年6月2日 |
| 荷揚港 | 徳山下松港（周南バルクターミナル）及び他港 |
| 到着時期 | 平成27年6月18日 |
| 輸送量 | 約6万トン（トクヤマ：約2万トン、出光興産：約4万トン） |

■ 中国電力・トクヤマ・出光興産（平成27年12月）

| | |
|------|-----------------------------------|
| 積出港 | ニューキャッスル港（豪州） |
| 出発時期 | 平成27年12月11日 |
| 荷揚港 | 徳山下松港徳山地区（周南バルクターミナル） |
| 到着時期 | 平成27年12月28日 |
| 輸送量 | 約8万トン（トクヤマ・出光興産：約3万トン、中国電力：約5万トン） |

■ 宇部興産・中国電力（平成 28 年 3 月）

| | |
|------|--|
| 積出港 | タラハン港（インドネシア） |
| 出発時期 | 平成 28 年 3 月 1 日 |
| 荷揚港 | 宇部港 |
| 到着時期 | 平成 28 年 3 月 14 日 |
| 輸送量 | 約 6 万トン（宇部興産：約 2.5 万トン、中国電力：約 3.5 万トン） |
| 輸送船 | 6 万トン級パナマックス船 |

■ 東ソー・中国電力（平成 28 年 9 月）

| | |
|------|---------------------------------|
| 積出港 | ニューキャッスル港（豪州） |
| 出発時期 | 平成 28 年 9 月 15 日 |
| 荷揚港 | 宇部港 |
| 到着時期 | 平成 28 年 9 月 30 日 |
| 荷揚港 | 徳山下松港（新南陽地区） |
| 到着時期 | 平成 28 年 10 月 2 日 |
| 輸送量 | 約 7 万トン（中国電力約 2 万トン、東ソー約 5 万トン） |
| 輸送船 | 8 万トン級パナマックス |

■ 中国電力・四国電力（平成 29 年 1 月）

| | |
|------|------------------------------------|
| 積出港 | バンジャルマシン沖（インドネシア） |
| 出発時期 | 平成 29 年 1 月 15 日 |
| 荷揚港 | 宇部港 |
| 到着時期 | 平成 29 年 1 月 26 日 |
| 輸送量 | 約 7 万トン（中国電力：約 3 万トン、四国電力：約 4 万トン） |
| 輸送船 | 8 万トン級パナマックス船 |

■ 宇部興産・中国電力（平成 30 年 1 月）

| | |
|------|------------------------------------|
| 積出港 | バンジャルマシン沖（インドネシア） |
| 出発時期 | 平成 29 年 12 月 31 日 |
| 荷揚港 | 宇部港 |
| 到着時期 | 平成 30 年 1 月 11 日 |
| 輸送量 | 約 7 万トン（宇部興産：約 5 万トン、中国電力：約 2 万トン） |
| 輸送船 | 8 万トン級パナマックス船 |

※これらは当社が把握している事例を整理したもので、石炭の共同輸送の実績の全てを掲載したものではありません。